

**Plan**

事業名	天竜浜名湖鉄道対策事業			事業類型	内部管理	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	2 款	1 項		8 目	事業1	25	事業2	41
担当部署	部	産業部			課	産業振興課			
総合計画体系	めざすまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			基本計画	5-⑤利用しやすい公共交通			
事業の目的	天竜浜名湖鉄道の経営の安定を図り、地域住民の交通手段の確保と地域活性化を図る								
事業の概要	天竜浜名湖鉄道の利用促進と地域のマイルール意識を高め、財政的支援を計画的に行うことで経営を長期安定化する								

**Do**

事務事業評価

(単位:千円)

	事業内容と活動実績	決算見込額	内、特定財源
平成30年度	沿線住民のための大切な公共交通手段を維持していく	13,279	0
	合計	13,279	0

**Check**

成果指標	成果指標名(単位)				H29実績	H30目標	H30実績	R1目標
事業の評価	判定	判定理由や課題、改善した点など						
	必要性							
	有効性							
	効率性							

**Action**

事業費				左記についてのコメント
今後の方向性	拡大	次年度	拡大	各種施策やイベントが継続的な利用促進につながるよう工夫が必要である 他の公共交通機関との相互連携を促進する必要がある 次期経営計画の策定に関する協議をしていく

実施計画

(単位:千円)

事業内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
沿線住民のための大切な公共交通手段を維持していく	▶		
3か年の合計事業費	87,566		

**Plan**

事業名	バス事業			事業類型	ソフト	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	2 款	1 項		8 目	事業1	25	事業2	38
担当部署	部	産業部			課	産業振興課			
総合計画体系	めざすまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			基本計画	5-⑤利用しやすい公共交通			
事業の目的	市民の日常生活における交通手段の確保を図り、快適な住まい環境を図る。特に、高齢者や通学児童、生徒、通勤者の日常生活の移動手段を確保する								
事業の概要	市民の通勤通学や通院、買い物のための利用の利便を図るために、コミュニティバスを運行をする								

**Do**

事務事業評価 (単位:千円)

	事業内容と活動実績	決算見込額	内、特定財源
平成30年度	各地区からJR駅へ運行する8路線を車両7台で運行するコミュニティバス事業の実施	63,024	650
	コミュニティバスのダイヤ及びルートの変更		
	自主運行バス(浜名線)のコーちゃんバス化をする		
	合計	63,024	650

**Check**

成果指標	成果指標名(単位)			H29実績	H30目標	H30実績	R1目標
		コミュニティバス年間利用者数			83,263	100,000	105,697
事業の評価	判定	判定理由や課題、改善した点など					
	必要性	A	市民の通勤通学や通院、買い物のための利用の利便性を図るためにコミュニティバスの運行				
	有効性	A	交通弱者と呼ばれる高齢者や障害者などの通院や買い物、小学生などの通学と市民の通勤などへの利用が図られている。				
	効率性	B	コミュニティバスのバス車両の小型化や運行時間の縮小を行う。より利便性を図るため、利用者が少ない路線の運行方法の見直しを検討する。				

**Action**

事業費				左記についてのコメント
今後の方向性	縮小	次年度	縮小	利用者の少ない路線の運行方法の見直しを検討するとともに、各地区からJR駅へ運行する8路線7台で運行するコミュニティバス事業の実施をする。また、新たな公共交通であるデマンド型乗合タクシーを白須賀地区で運行し、バス事業の運行を検討する。

実施計画 (単位:千円)

事業内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
・各地区からJR駅へ運行する8路線を車両7台で運行するコミュニティバス事業の実施	▶		
コミュニティバスのダイヤ及びルートの変更			
3か年の合計事業費	218,935		

**Plan**

事業名	地域公共交通対策事業			事業類型	内部管理	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般 会計	2 款	1 項		8 目	事業1	25	事業2	40
担当部署	部	産業部			課	産業振興課			
総合計画体系	めざすまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			基本計画	5-⑤利用しやすい公共交通			
事業の目的	市内の公共交通を総合的に見直し、より利便性の高い、市民に利用される地域公共交通サービスの充実を図る								
事業の概要	地域公共交通会議では、市民生活に必要なバス等の旅客輸送の確保を図り、利用者がより便利に利用できる施策や地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議する。また評価改善委員会において、計画に基づいた進行管理を行い、運行の見直しや利用促進策の見直しにつなげる。								

**Do**

事務事業評価

(単位:千円)

	事業内容と活動実績	決算見込額	内、特定財源
平成30年度	地域公共交通会議の開催(4回)	7,779	1,387
	バス運行評価改善委員会(3回)		
	白須賀地区において、デマンド型乗合タクシーの実証運行から本格運行を検討する		
	コーちゃんバスを上手に利用する会の開催		
	合計	7,779	1,387

**Check**

成果指標	成果指標名(単位)				H29実績	H30目標	H30実績	R1目標
事業の評価	判定	判定理由や課題、改善した点など						
	必要性							
	有効性							
	効率性							

**Action**

事業費				左記についてのコメント
今後の方向性	拡大	次年度	拡大	デマンド型乗合タクシーの運行について、市内での導入を検討していく

実施計画

(単位:千円)

事業内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
地域公共交通会議の開催(4回)	▶▶▶▶		
バス運行評価改善委員会(3回)	▶▶▶		
コーちゃんバスを上手に利用する会の開催	▶▶▶▶		
白須賀地区において、デマンド型乗合タクシーの本格運行	▶▶▶▶		
知波田地区において、デマンド型乗合タクシーの実証運行	▶▶▶▶		
新たな交通デマンドシステムの導入による実証実験	▶▶▶▶		
3か年の合計事業費	45,106		